

令和6年度第2回下関警察署協議会会議録

開催日時	令和6年11月20日（水） 午後3時30分から午後5時15分までの間	
開催場所	下関警察署5階 講堂	
出席者	委員	村田委員、城石委員、柳川委員、石津委員、中村委員 山田委員、且委員、久保委員、杉本委員、大西委員 福山委員、村尾委員 計12人
	警察署	署長、副署長、地域官、刑事官、交通官、主幹、生活安全官 警備官、警務課長、警察安全相談課長、留置管理課長 生活安全課長、地域第一課長、刑事第一課長、刑事第二課長 交通捜査課長、外事課長 計17人
議題	1 業務説明 2 諮問事項 「少年が加害者にも被害者にもならないための対策の推進」	
<p>1 会長挨拶 本日はお忙しい中、協議会に出席いただき、誠にありがたく思う。 最近、SNSを通じて闇バイトに申し込んだ者が、強盗や殺人などの犯罪を引き起こしている。こうした事件は関東圏で発生するものだと思っていたが、光市においても高校生を含む青少年3名が逮捕される事案が発生してしまった。下関市内では今のところ発生していないものの、これから12月に入って気忙しくなってくると思うので、十分気を付けていただきたい。 本日の諮問事項は、「少年が加害者にも被害者にもならないための対策の推進」についてである。後程、担当の生活安全課長から説明があるが、ぜひ忌憚のない意見をいただき、会議が活性化するように願います。</p> <p>2 署長挨拶 （省略）</p> <p>3 警察署協議会会長会議の伝達（会長） 例年は警察本部であるが、今年は初めて警察学校で開催され、周南署、山陽</p>		

小野田署、長門署の3署が代表して意見発表を行った。どこの警察署も採用活動に苦慮している様子であったが、イベント会場や各学校等で業務説明を行うなど、取組を進めているとのことである。中でも、山陽小野田署の「警察官適性検査」は面白く、警察官の仕事に興味を抱かせることができるという点で他署からも好評であった。

会議終了後は機動隊を見学し、レンジャー訓練では、12メートルの高さは人間が最も恐怖を感じるなどの説明を受けた。警察学校の食堂で昼食をとり、その後、校内見学をさせてもらったが、図書館には本がたくさん置いてあって学生はよく勉強しているとのことである。

警察学校の見学は滅多にできないので、警察官としてスタートする学校での生活を目の当たりにすることができ、良い経験となった。

4 業務説明（署長）

以下の項目に沿って説明した。

(1) 犯罪情勢

- ア 刑法犯認知件数
- イ うそ電話詐欺
- ウ SNS型投資・ロマンス詐欺

(2) 人身安全関連事案

- ア DV（配偶者暴力）事案
- イ ストーカー事案
- ウ 子供・女性に対する脅威事犯の発生状況

(3) 組織犯罪関連事案

- ア うそ電話詐欺（特殊詐欺等）の検挙状況
- イ 薬物事犯検挙状況
- ウ 暴力団検挙状況

(4) 交通事故対策

- ア 交通事故情勢

5 諮問事項説明（生活安全課長）

以下の項目に沿って説明した。

(1) 少年を取り巻く情勢（山口県内）

- ア 刑法犯少年、特別法犯少年の検挙・補導状況
- イ 薬物（大麻）の検挙状況
- ウ 不良行為の補導状況
- エ 被害の状況
- オ ネットトラブルの状況

(2) 少年の健全育成に携わる機関等

- ア 警察本部、警察署
- イ 少年サポートセンター
- ウ 市教育委員会
- エ ボランティア

(3) 少年が加害者にも被害者にもならないための対策

- ア 各種講習
- イ 少年セーフティリーダーズ活動
- ウ 保護者への働きかけ
- エ 情報発信
- オ 時代の要請に応じた対応

カ 少年相談窓口の周知

(4) 諮問事項

6 協議

(委員)

私は下関署の少年相談員を約20年間務めており、少年補導にも従事してきた。以前はゆめシティやシーモールが少年たちのたまり場になっていたが、最近では姿を見かけなくなかった。また、通学路で喫煙する少年を注意することも多かったが、現在は全く見かけることがなくなった。今は皆がスマホを持っているので、少年たちはスマホで情報交換を行うなど、集まり方が変わってきている。最近はどういうところに集まることが多いのか。

(生活安全課長)

ゆめシティやシーモールのフードコート等では、いまだに「若者が集まっている」との通報も多く、その都度、警察官が対応している。時間帯や曜日にもよるので、い集する場所を断定するのは難しい状況にある。委員から発言のあったゆめシティやシーモールのほかにも、深夜のコンビニや駅でも少年い集の110番通報が入っている。

(委員)

墓の納骨室に大麻を隠し、取引をしていると聞いたことがある。約10年前は公園で少年らがたばこを吸ったり、バイクを乗り回したりすることも多かったが、最近は見かけなくなかった。携帯電話が普及し、携帯電話で連絡を取り合って深夜徘徊や大麻取引などをしているのではないか。

(委員)

警察から大きなアクションをかけることが重要ではないか。学校の依頼がなければ講演や教室を開くことができないのか。警察からアクションをかけてみてはいかがか。

(委員)

自転車盗の被害が多い駅で、鍵のかかかっていない自転車を警察官に確認してもらった後、防犯登録がされていない自転車については市に回収依頼をしたが、札が取り付けられた状態で回収されていなかった。

(委員)

市は2週間置いて持ち主が取りにくるか見極めているのではないか。実際のところ、放置自転車か否かの判断は難しい。いずれにしても、まずは警察署や交番に届け出た方がよいと思う。

(委員)

子供に対するアプローチが重要ではないか。交番に子供が来て「おまわりさん、今日はこうだった。」などと話してくれるような社会になればよいと思う。制服を着た警察官が登下校中の子供に声をかけ、優しい警察官の姿を見せていれば、自然と良い子供が育つ環境になるのではないか。

(委員)

加害者にも被害者にもならないためには、保護者の役割が重要だと思う。親子で参加できるSNS教室などを開催し、実際に親子で参加すれば効果的ではないか。警察からメッセージを発信し続ければ、こうした取組に熱心な保護者が増え、実効性につながっていくと思う。

(委員)

子供が加害者になることも十分に考えられる。いたずら心でSNSにニセ画像を撒いたりすると、被害者のダメージは計り知れないものがあると思う。こうした被害を受けた子供はどのくらいいるのか。

(生活安全課長)

当署管内では、ネット犯罪で被害に遭った子供は10人で、少年による加害としてはリベンジポルノや同級生の裸の写真を撒くなどの事案を認知している。こういう犯罪少年の行為は、事件化して検察庁あるいは家庭裁判所に送致し、保護処分などが検討されることとなる。このような非行少年を認知した場合は、適切に処分が下されるよう臨んでいるところである。

(委員)

ふざけ半分でやっている学生が多いのか。

(生活安全課長)

当事者の少年は重大性を認識しておらず、面白半分でやっている。その対策として、少年や保護者に対し、様々な機会を通じて少年が自ら考えて行動できるような動機付けを行っている。

(委員)

警察官が積極的に学校訪問を行い、やってはいけないことなどをしっかり教えてほしい。

7 配付資料

下関警察署協議会会議資料
業務説明資料

8 その他

次回会議は、令和7年2月上旬に開催予定とした。